

兵庫県産カミキリムシ 2 題

(兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 1 5)

高 橋 寿 郎

○ シロスジドウボンカミキリの産地

シロスジドウボンカミキリ *Pothyne annulata* Breuning は“日本産カミキリ大図鑑”によると本州の福井県以西に分布している種でどちらかと云えば南方系の種のようなものである。寄主植物にウメ、スモモ、ハマヒサカキ、ヤブガラシ、キブシなどがあげられている。

兵庫県下での記録は洲本市三熊山 [金田, 1980], 西宮市生瀬 [遊磨, 1974], 美方郡浜坂町城山 [磯野, 1981] と知っているだけである (他に記録があれば御教示頂きたい)。

筆者自身は相生市三湊山で lex. (1-VI-1974) 採集しているが1987年6月27日神戸市逢山峡で叩網で lex. 採集出来ているので此処に記録していきたい。

○ タイワンメダカカミキリの県下での産地

タイワンメダカカミキリ *Stenohomalus taiwanus taiwanus* Matsushita は松下眞幸博士が台湾産標本で記載されたが故にこの種名がついている (J. Fac. Agric. Hohhaido Imp. Univ., 34(2):307, pl. 1, fig. 13, 1933) が日本の琉球列島は勿論四国, 九州, 本州と広く分布しているようで (カミキリ大図鑑によると台湾産は別亜種とある), 特に珍しいものではないかもしれないが (カミキリニュース関西版 Vol. 19, No. 1, 1987 によると大阪府豊能町寺田で栽培されているサンショの材から多数出て来たことが報じられていた), 兵庫県下の記録は筆者の知っている範囲では多紀郡丹南町竜造寺 [辻, 1964], 養父郡氷ノ山 [遊磨, 1972], 横行 [黒田, 1982] と神戸市六甲山 [関, 1941] で案外少なかったがごく最近前平照雄氏が自宅の裏に植えていたサンショが枯れて切り倒したのから本種を 39 exs. も採集した記録があり (場所は豊岡市下陰. IRATSUME, No. 12, P. 89, 1988) 結構多くいる種と云うことがわかった。

筆者自身は神戸市内の山の街で lex. (17-V-1953) 採集しているが此の地は住宅地に変っているので現在どんな状況なのか——。

1987年6月27日同じく市内逢山峡で叩網で lex. 採集出来ているので此処に記録しておきたい。

神戸市内でもたくさんいる所がある様に思われる。

(MAY 1988)

宝塚大橋の昆虫（その2）

新 家 勝

今回は、シテムシ科からコガネムシ科までについて報告する。

7. Silphidae シテムシ科

- (1) *Necrodes asiaticus* Portevin オオモモフトシテムシ

X. 25, 1978 武庫川町

X I. 6, 1978 南口2丁目

1978年から1979年にかけて、次種とともに普通に見られたが、最近は余り見られなくなってしまった。

- (2) *Necrodes nigricornis* Harold モモフトシテムシ

X. 25, 1978 南口2丁目

X. 26, 1978

8. Staphylinidae ハネカクシ科

- (1) *Staphylinus maxillosus* Linne オオハネカクシ

VI. 12, 1979 武庫川町

9. Lucanidae クワガタムシ科

- (1) *Prosopocoilus inclinatus* Motschulsky ノコギリクワガタ

VI. 10, 1979 南口2丁目

- (2) *Dorcus titanus* Boisduval ヒラタクワガタ

X II. 14, 1986 南口2丁目

- (3) *Macrodercus rectus* Motschulsky コクワガタ

VII. 27, 1980 南口2丁目

VII. 26, 1986 南口2丁目